



エジプトの市場の魅力とスタートアップ

- ❖ エジプトの概要、ポテンシャル
- ❖ 経済・投資・産業事情
- ❖ エジプトスタートアップ

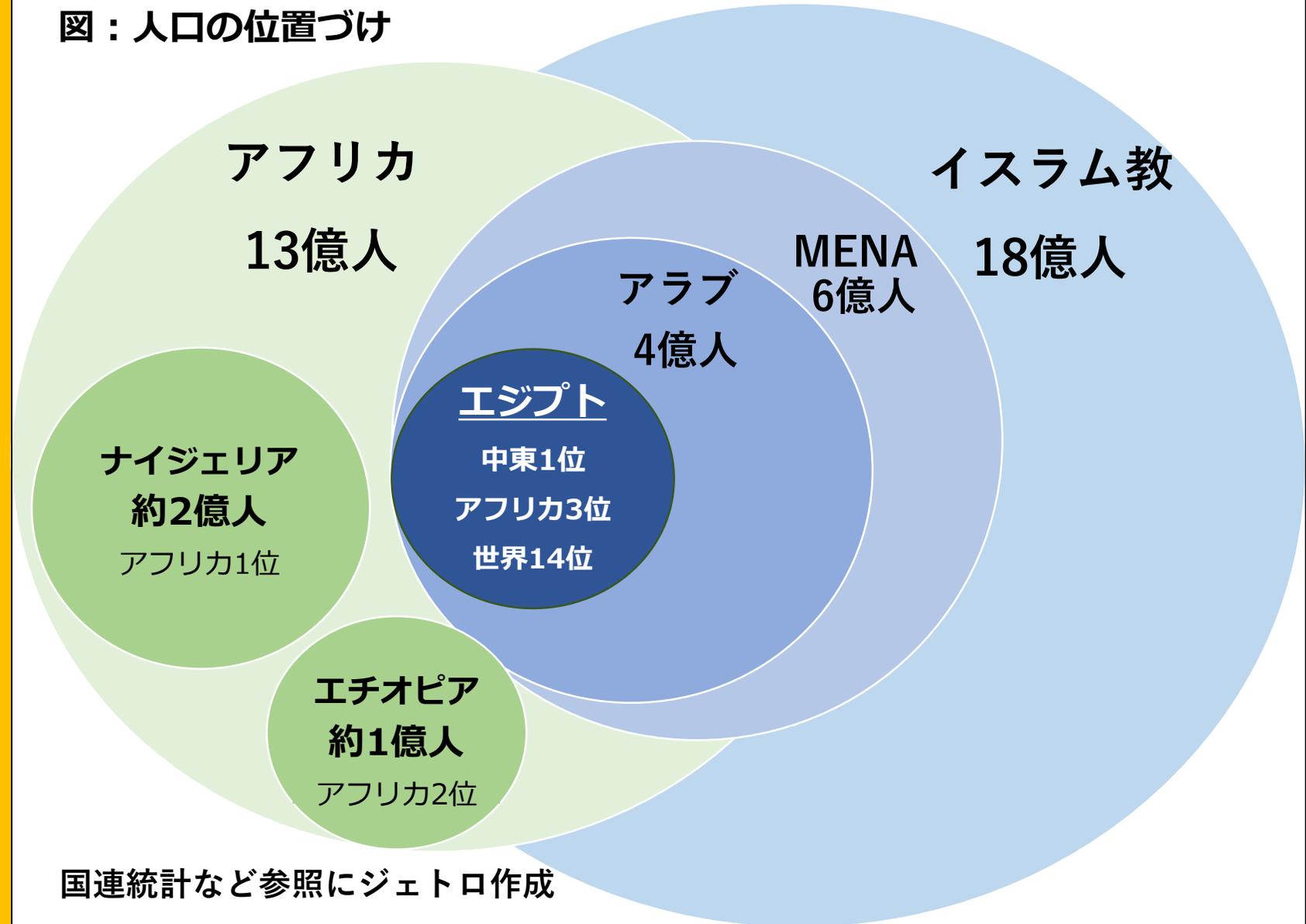
2020年12月21日

カイロ事務所 井澤 壤士

エジプト・アラブ共和国概要

- **人口**
1億人（2020年2月）
- **言語**
アラビア語・エジプト方言
アラブ連盟本部:カイロ
- **政治経済・文化圏**
中東・北アフリカ
(MENA)
- **地理・政治**
アフリカ大陸
(2019年 AU議長国)
- **宗教 ※金曜礼拝、金土休み**
イスラム教9割
キリスト教1割
- **気候：砂漠性気候**
- **通貨：エジプト・ポンド**

図：人口の位置づけ



エジプトのポテンシャル

Workforce

1億人

人口増加
2050：1.5億人

2010年8千万人 30年1.2億人

23歳

年齢中央値が低く
若年層が多い

失業率:7% 若年層:31%

一般職スタッフ
月額 約700ドル

安価な労働力、
ビジネスコストも安価

公務員月最低賃金 約120ドル

Potential Market

約3,000億ドル

アフリカ第3位
のGDP

約3,000ドル

1人あたりGDP
ベトナム 同水準

成長率5.6%

コロナでも成長
2020:3.5%予測

Digital/ Start-ups

約4,260万件

スマホ,大人の半数
携帯SIM契約1億件

約3,900万件

フェイスブック利用
アフリカ最大

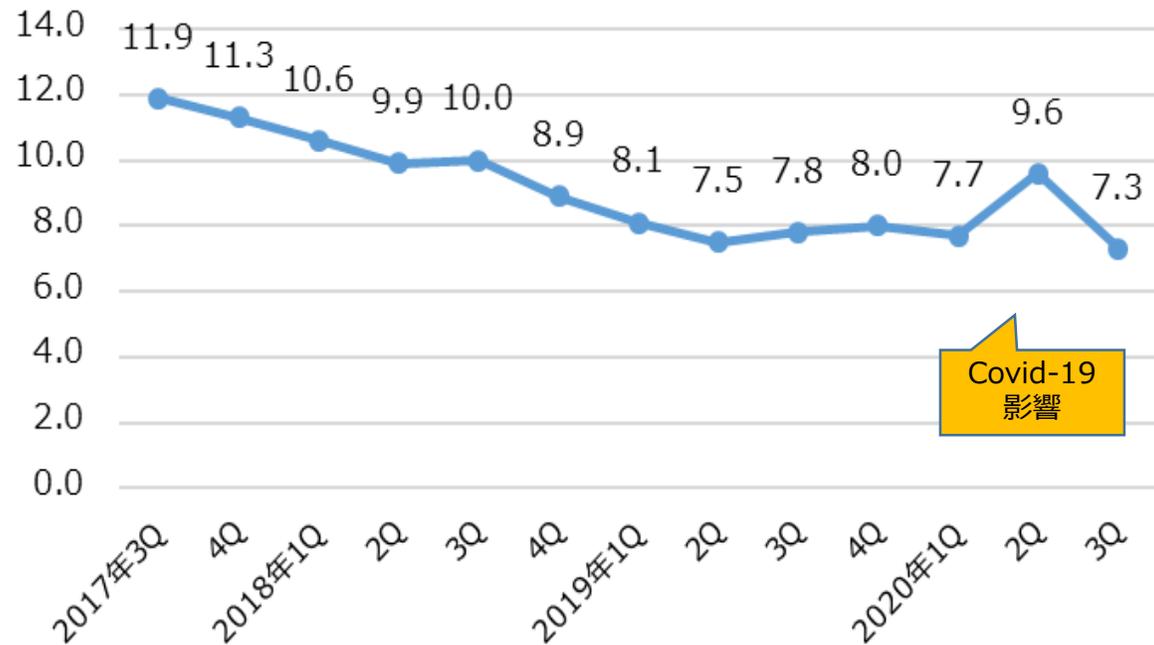
ICTスタートアップ
約600社

テックハブ40社が
支援、起業が増加

- ▶ 失業率はアラブの春の前後で悪化後、回復傾向、新型コロナでも悪化したが、7～9月期は**7.3%に改善**
- ▶ 新たな会社設立数は、新型コロナの影響で減少も、**8月には2,229社でコロナ前まで回復**

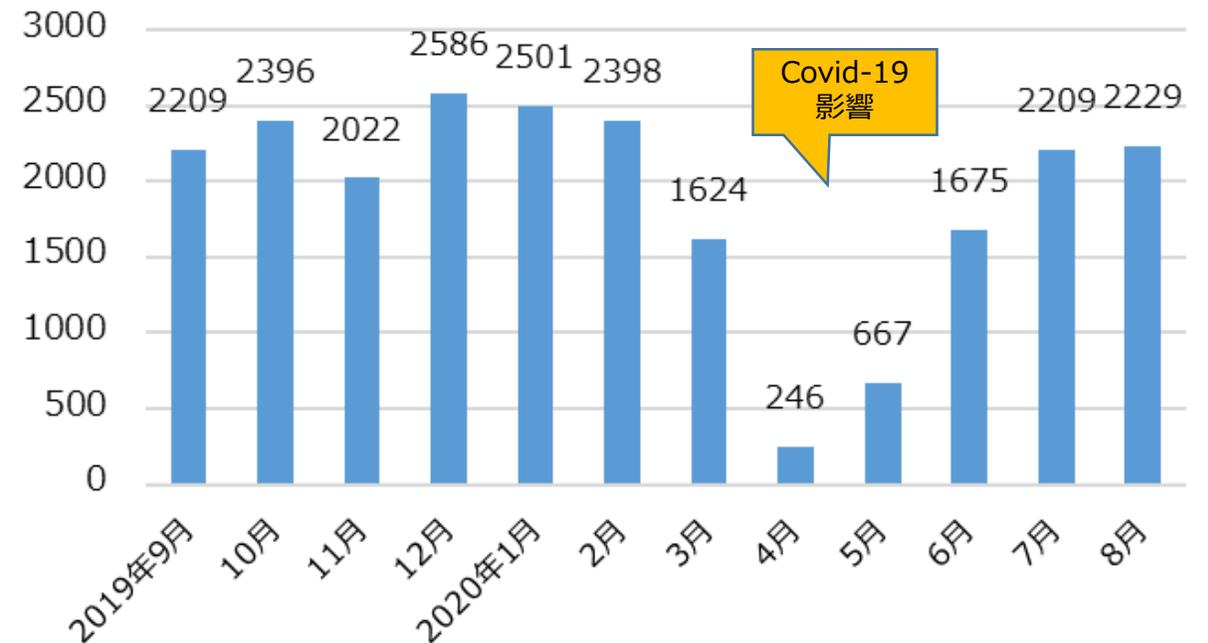
エジプトの失業率推移 (%)

出所：CAPMAS



エジプトの新たな会社設立数推移 (単位：社)

出所：CAPMAS



エジプトはFTAや関税協定が多く、それらの国へ輸出 JETRO

- 湾岸諸国、EU、トルコ、米国などに関税協定
- ジェトロHP「[エジプト：関税協定](#)」も参照
- 2019年のエジプトの輸出額は**米国、UAE、トルコ、サウジアラビア、イタリア、英国**の順

①GAFTA

⇒湾岸諸国との関税撤廃

②EU（地域）、トルコ（二国間）

⇒段階的撤廃、2019年から0%

③米国（QIZ）

⇒イスラエルの部品を使えば米国輸出
関税ゼロ、繊維製品など

④MERCOSUR（南米）

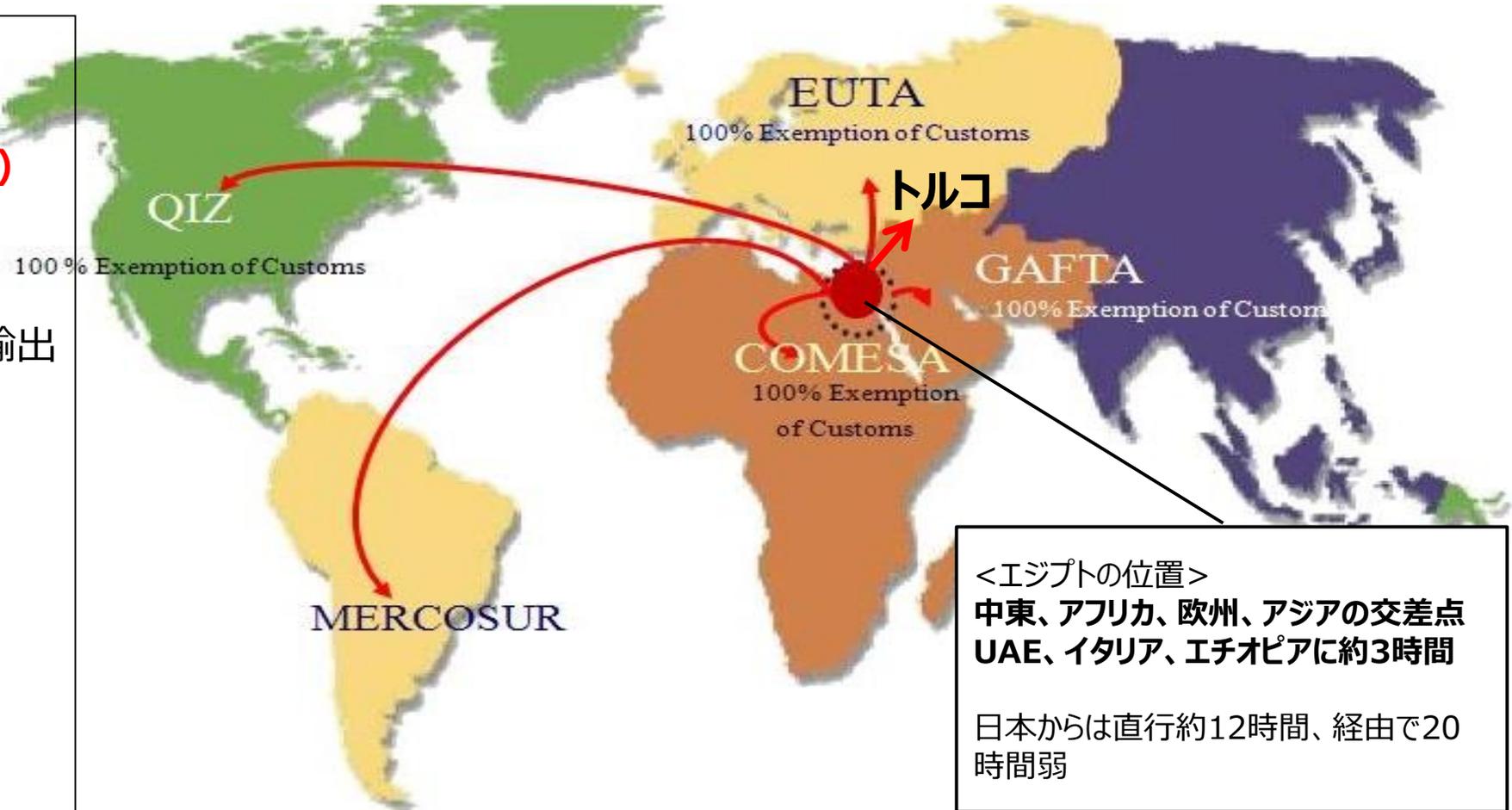
⇒2017年発効後、段階的撤廃
ブラジル、メキシコなど

⑤COMESA（東南部アフリカ）

⇒ケニア、エチオピアなど

※AfCFTA（アフリカ域内）

⇒2021年運用開始へ



エジプトへの外国投資は湾岸諸国と欧米が牽引

- 2019年は約90億ドルで**アフリカ第1位の対内直接投資**（フロー）
- **EU諸国からの投資が64.2%、特に英国からの投資が38.9%、アラブ諸国は19.3%**
- EUは天然ガス、インフラなどに投資、アラブ諸国：不動産、開発、食品などの分野での投資

表 エジプトの国・地域別対内直接投資<国際収支ベース,ネット,フロー>

国名 順位		対内直接投資			
		2018年 金額	2019年		
			金額	構成比	伸び率
1	英国	4,944	6,825	38.9	38.0
2	ベルギー	2,245	2,227	12.7	△ 0.8
3	米国	2,294	1,367	7.8	△ 40.4
4	アラブ首長国連邦(UAE)	1,053	1,360	7.8	29.2
5	オランダ	653	949	5.4	45.3
6	クウェート	411	539	3.1	31.1
7	イタリア	192	532	3.0	177.1
8	カタール	215	482	2.7	124.2
9	サウジアラビア	406	378	2.2	△ 6.9
10	フランス	245	344	2.0	40.4
-	日本	40	60	0.3	50.0
-	EU	8,376	11,264	64.2	34.5
-	アラブ諸国	2,472	3,394	19.3	37.3
-	流入計(その他含む)	14,597	17,546	100	20.2
-	流出計	△ 6,456	△ 8,536		32.2
-	ネット	8,141	9,010		10.7

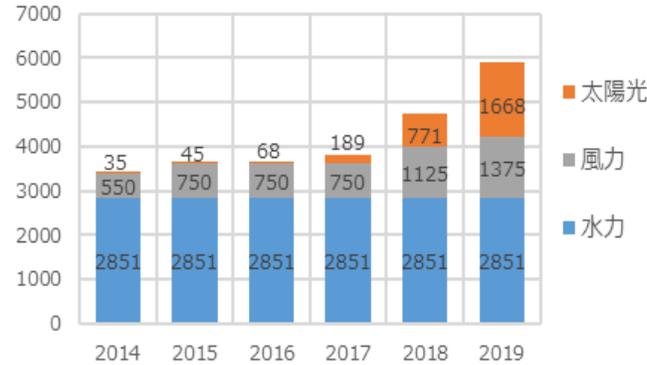
[出所] エジプト中央銀行

詳細は貿易投資動向参照
「ジェトロ エジプト 貿易投資動向」

スタートアップへの投資も
ナイジェリア、ケニアに次いで
アフリカ第三位

エジプトの再生可能エネルギー発電容量推移

(単位：MW、出所：IRENA)



再生可能エネルギー

- 太陽光発電@Benaban Solar Park 4 bil \$ 規模
- 紅海沿い風力発電

医療・ヘルスケア

- 病院建設
- Suez Medical City 1.2bil \$プロジェクト

水処理

- 39か所の淡水化施設 2 bil \$プロジェクト
- 52浄水場設置

農業

- 農地開発@シナイ半島、ルクソール（南部）
- 既存農地の改修

観光（コロナ影響大）

- ホテル建設、空港改修
- GEM（グランドエジプシャンミュージアム）

教育

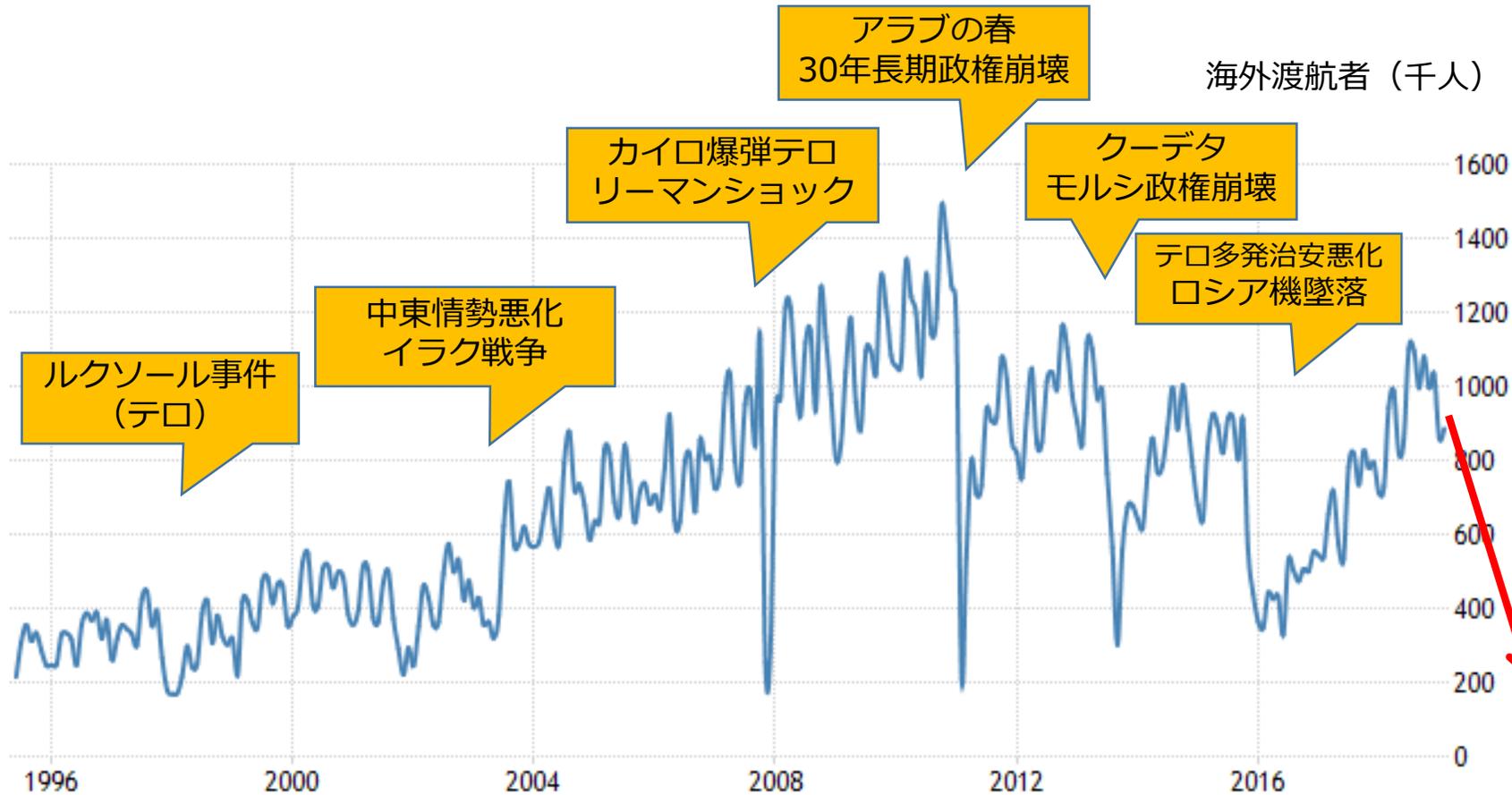
- 学校新設・改修
- 技術大学の新設（日本科学技術大学、他に中国も）

【分析レポート】

「エジプト農業と農産品輸出の現状と課題」

- 砂漠に農地拡大
- トマト、玉葱 世界5位
- 米単収世界2位、肥沃
- オレンジ輸出額3位
- 農業従事者25%

観光産業は重要な外貨の収入源・雇用機会



コロナ対策により
3月以降～6月は国際線停止

観光業は七転び八起きで、
何度も立ち上がって来た

世界有数の
観光資源



出所：エジプト中央銀行

新行政首都計画（砂漠に0からインフラ整備） カイロの東へ30キロ「2021年移動予定」

【ビジネス機会】

- ・省庁ビル内の設備導入
- ・スマートシティ化
- ・サービスセクターが未整備
- ・新都市交通システムの導入（電気バス）
- ・モノレールを設置予定
- ・中国企業が商業ビル建設（高層タワーも）



★スエズ運河経済特区（SIDC工業団地）

スエズ経済
特区で工業
団地や港湾
を整備、中
国企業も



建設中の省庁ビル



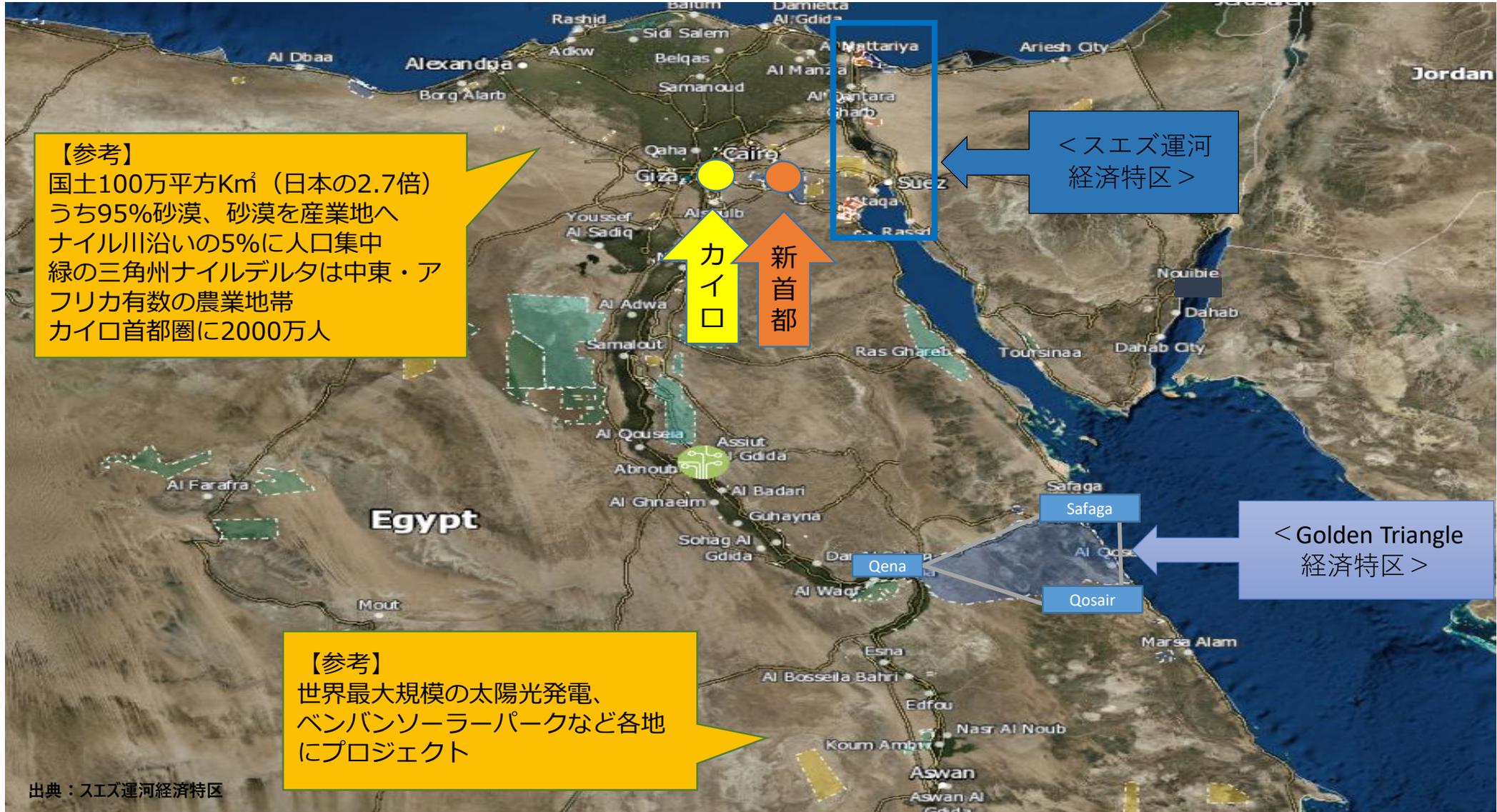
国内最大モスク（中東最大教会も建設）



風力発電（紅海沿い、豊通通商）

注目ビジネス：建設関連、政府プロジェクト

スエズ運河経済特区、新行政首都、工業団地、発電、インフラ（外資建設も）



【参考】
 国土100万平方Km²（日本の2.7倍）
 うち95%砂漠、砂漠を産業地へ
 ナイル川沿いの5%に人口集中
 緑の三角州ナイルデルタは中東・ア
 フリカ有数の農業地帯
 カイロ首都圏に2000万人

【参考】
 世界最大規模の太陽光発電、
 ベンバンソーラーパークなど各地
 にプロジェクト

リビア

サウジ
アラビア

出典：スエズ運河経済特区



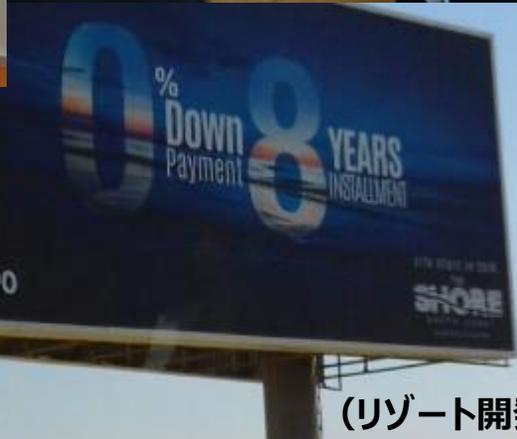
(建設見本市)



人工スキー場「Ski Egypt」)



(郊外に移転する高所得者向け住宅)



(リゾート開発看板)

- 法制度の未整備・不透明性（日系企業進出調査：エジプト）
- 手続きの遅延、煩雑さ
- 貧富格差があり貧困率が高い（29%）
- 政治的対立、リビア、エチオピアと対立（トルコ、カタールも）
- 現地メディア、統計の信用性
- 現地産業へのインセンティブ不足など
- コロナ禍での不景気（安い商品を志向）、観光、外食などへの影響





JETRO

エジプト・スタートアップ事情 社会課題解決へ



❖ 失業率高く、民間アクセラレーター、VCが支援で起業増

- 「中東スタートアップの父が若者の起業を支援」 ←ジェトロ記事有
- 課題の多い、金融、教育、交通、物流、医療など分野で起業相次ぐ

アラブの春の混乱
後、
若者のエネルギーを
起業へ！
政治の革命から
ICT革命へ！

❖ スタートアップイベントが多数開催、政府も支援

- ピラミッドでプレゼン 「Pitch by the Pyramids」
- エジプト最大起業イベント 「Rise-up Summit」 (昨年8千人参加)
- 政府主催 Africa Forum、Cairo ICT等の大型イベントでスタートアップ支援が注目



❖ スタートアップによる社会課題解決 一足飛びの技術革新（リープフロッグ）へ

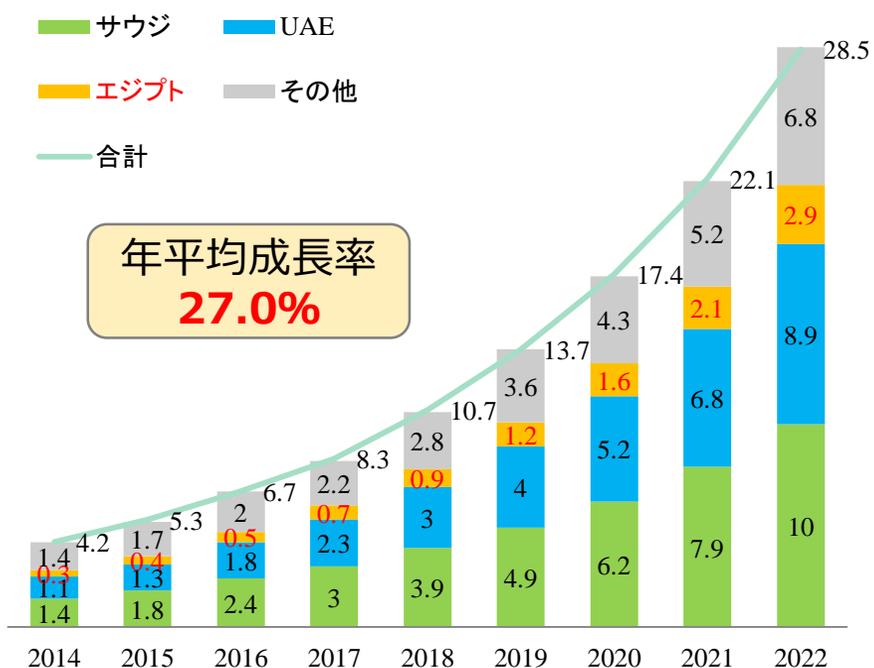


他国成功モデル参考にエジプトに最適化、アラビア語圏、MENA、アフリカへ拡大。

- 地域全体で年平均成長率27%、商品の幅も広がる
- エジプトはコロナ前予測で16億ドルの市場、コロナ禍にはEコマースが増加（グラフはコロナ以前の数値）

MENA地域の国別Eコマース販売額

単位：10億ドル



年平均成長率
27.0%

出所：E-Commerce in MENA (Google, BAIN & Company)

- ✓ エジプトでは、Souq.com(UAE発、アマゾンが買収)、Jumia（ナイジェリア発、アリババと提携）がシェア
- ✓ 米Amazonは2017年、ドバイEコマース企業 **Souq.com**を5.8億ドルで買収。2019年、UAEでのブランドを**Amazon.ae**に変更。



※エジプトでははSouq.comを継続。

- ✓ サウジ公的ファンドPIF、ドバイ不動産開発大手Emaarらが10億ドル以上出資した**Noon.com**や、地元大手小売企業の参入で競争は激化。輸送や決済など関連サービスでの事業ニーズも。



Noon

※2017年10月にUAE、サウジでローンチ。ついで19年2月より、エジプトにサービス拡大。

<エジプト発Eコマース>

- ✓ 専門プラットフォーム：
薬局配達・Chefaa（調達）
不動産・Aqar Map
服レンタル・LaReina（調達）
美容・Souce Beaty

- ✓ 食品デリバリー：
食品配達・Gourmet Egypt
外食配達・Otlob/Talabat
外食配達・Mumm（調達）
外食配達・Elmenus

- ✓ BtoB Eコマース：
オートバイ物流・Halan
輸送シェア・Trella
BtoB食品取引・MaxAB
個人間 & BtoB取引Brimore（調達）

※小売店、製造もEコマース

❖ 政府のデジタル関連の新型コロナ対策、ICT予算を4倍増

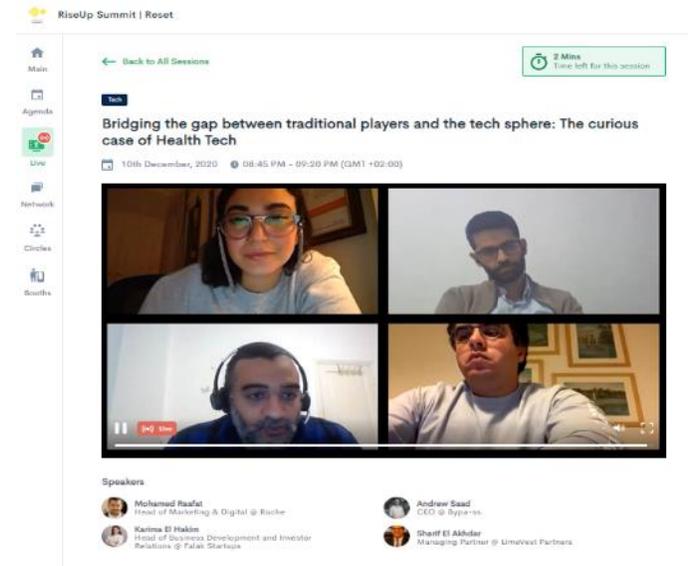
- テレワークやオンライン教育の実施・推奨
- 感染経路把握アプリの活用「Egypt Health App」
- 病院など公的機関の手続きオンライン化予定、電子署名法を改定
- 2020/2021年度予算にて保健衛生分野を前年比72%増、ICT分野を同4倍増

❖ 中央銀行の電子決済推進（コロナ対策）

- 電子決済推進のためPOSシステム機材10万台（30万拡大）を小売店や薬局などに無料配布
 - 国内取引の送金手数料の免除（12月まで）
- * コロナ前よりフィンテック支援

❖ 起業支援のオンラインイベント

- アクセラレーターRiseUp主催のオンライン起業支援サミット
- 第2回・12月初旬実施、第1回2千人以上参加



<スタートアップとの活用、協業、出資>

❖ スタートアップの活用

- 商品販売の際の専門Eコマースの活用
- Fawryでの電子決済など、フィンテックの活用

❖ スタートアップとの協業

- 教育動画配信Nafhamでのカシオの計算動画、キャノンのカメラ撮影レクチャー動画
- ライドシェア・物流などでの自動車活用・宣伝
- 新たなビジネスを開発・ハードウェア提供など

❖ 出資、買収

- 新型コロナでもヘルスケア、Eコマース、ロジスティクス、フィンテック等
- 日系VCが遠隔医療診断、メンタルヘルスケア、歯科器材ECに出資
- ケニア等でも日系企業が物流、ヘルスケア、フィンテック等に出資
- 買収し自社サービス拡大：欧州フードデリバリーに買収され中東ブランドに統一し拡大事例

ご清聴ありがとうございました。

検索のコツ、お教えします！

さらに詳しくジェトロの各国情報を知りたい方は
キーワード+ジェトロと入れて、検索してください。
最新でわかりやすいニュース・レポートがすぐに見つ
かります！

ジェトロ エジプト

検索



メールマガジン配信中

ジェトロ『中東アフリカNews』 毎週火曜日配信。
最新情報、気になるニュースをいち早くお届けします。

配信新規登録はこちらから→

<https://www.jetro.go.jp/mail/list.html>



【ご注意】

本日の講演内容、資料は情報提供を目的に作成したものです。

主催機関および講師は資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否はお客様のご判断で行ってください。

また、万一不利益を被る事態が生じましても主催機関及び講師は責任を負うことができませんのでご了承ください。

參考資料

エジプトのスタートアップ調査紹介

1. Swvl - エジプト最大のバスのライドシェアサービス
2. Wuzzuf - エジプト最大の求人掲載プラットフォーム
3. CyberTalents - サイバーセキュリティ人材のプラットフォーム
4. Instabug - アプリ開発用バグ検出システム
5. Elves - AIアシスタントシステム
6. Edfa3ly - 海外商品の個人輸入代行サービス
7. Otlob - エジプト最大のフードデリバリープラットフォーム
8. La Reina - 女性向けのファッションレンタルプラットフォーム
9. Eventtus - イベントのチケット購入・交流プラットフォーム
10. Yaoota! - エジプト最大の価格比較プラットフォーム
11. Fawry - エジプト最大の電子決済システム
12. Nafham - エジプト最大のオンライン教育プラットフォーム
13. Vezeeta - エジプト最大の医師予約・評価プラットフォーム
14. Diwan Videos - マルチチャンネル・ネットワーク

ジェトロ調査「アフリカ・スタートアップ100社（2019年2月）」
にエジプトのスタートアップを14社掲載

<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2019/01/dc0d01678915e238.html>

近年のエジプトの投資金額トップ5

Swvl（ミニバスライドシェア）

Vezeeta（医者予約・評価プラットフォーム）

Basharsoft（Wuzzuf提供など人材マッチング）

Halan（オートバイ物流手配・乗車予約アプリ）

Aqarmap（不動産EC）

ジェトロ調査「エジプトにおけるスタートアップの
現状 分野別の状況と主要プレイヤー（2019年6
月）」

エジプトのスタートアップを取り巻く環境、主な
アクセラレーターやベンチャーキャピタル、スター
トアップ支援などをレポートにまとめた。

<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2019/01/c58123432e4c99fc.html>

Halan (ハラン)

オートバイでの物流手配・乗車予約アプリ

社会課題

- ・電車や地下鉄の駅が少なく、公共交通機関の利用が限られている。
- ・カイロ首都圏は人口約2,000万人で約密度が高く、渋滞が多い。
- ・渋滞中は大型トラックなどでの物流に時間がかかる。
- ・Uberやタクシーは庶民にとって、通勤等で日常的に利用には高価。

ビジネスモデル

- ・バイクとトラックの予約アプリとして始まった。
- ・乗客と近くの運転手をアプリでマッチング。自社で車は保有なし。
- ・バイクで商品を運ぶ物流サービスを開始。渋滞でもバイクの方が4輪車よりもスムーズに運べる。
- ・大手KFC、McDonald's、Pizza Hat等から顧客への配達業務を受託
- ・物流の業務の比率の方が高くなった。
- ・エジプトとスーダン、中東・アフリカに拡大予定。

会社概要／実績

- ・設立年：2017年
- ・会社名のHalanはアラビア語で「直ちに (immediately)」に由来。
- ・累計利用数は1,000万回。特に大手外食の配達伸びが急増。
- ・2018年に初期投資で数百万ドルの資金調達に成功。
- ・会社ホームページ：<https://www.halan.com/>

Chefaa (シェファア)

薬局と患者のマッチングアプリ

TICAD7
ピッチで受賞

社会課題

- ・エジプトでは患者が近所で適切な薬局を見つけるのが困難である。
- ・定期的に薬局に通うには患者にとって身体的な負担になる。

ビジネスモデル

- ・薬が必要な顧客と配達30分圏内の薬局をアプリにてマッチング。
- ・薬局と顧客間でキャッシュオンデリバリーかオンライン決済可能。
- ・処方箋の写真にて注文し、薬局が患者に配達。定期購入も可能。
- ・エジプト9都市の約800の薬局でサービスを展開。
- ・今後、湾岸やアフリカ諸国に拡大する予定。
- ・特定の手ヘルスケア企業などの商品のオンラインショップも展開。
- ・患者情報と薬情報を蓄積でき、ビックデータとして活用が可能。

会社概要／実績

- ・設立年：2017年
- ・会社名のChefaaはアラビア語での「治療」に由来。
- ・オーダーが約10万件、売り上げは100万ドル。
- ・2018年に初期投資で数万ドル、2019年に50万ドルの資金調達に成功。
- ・会社ホームページ：<https://www.chefaa.com/>

Otlob (オトロブ)

エジプト最大のフード配達プラットフォーム

社会課題

- ・ 居住地区によっては食の選択肢が少ない。
- ・ 電話や口頭でのやり取りでは住所間違いが発生しやすい。

ビジネスモデル

- ・ ウェブとアプリで顧客と近くの提携レストランをマッチングし、フードすると予め登録された住所へ届ける。手数料を得る。
- ・ アプリで配達予定時間を確認でき、サポートのチャット機能も有。
- ・ アラブ料理から洋食、中華、McDonalds、KFC、PizzaHutなどファストフード、スイーツ、カフェまで様々な店と提携。
- ・ 人件費が安く失業率が高いので、低コストの配送人材が豊富であり、渋滞でも進めるバイクを活用し30分～1時間程度で配達。

会社概要／実績

- ・ 設立年：1999年
- ・ 2015年に100万ドルで買収される。
- ・ エジプトおよび中東5カ国で事業を展開。
- ・ エジプト6都市に展開、カイロだけで約1,500店の飲食店と提携。
- ・ 会社ホームページ：<https://www.otlob.com/egypt>

Fawry (ファウリー)

エジプト最大の電子決済システム

社会課題

- ・ 銀行等では煩雑な手続きが多く、手数料が高い。
- ・ 都市部での渋滞が多く、銀行や携帯ショップ等に出向く時間がかかる。
- ・ 銀行口座保持者は約3割のみ。クレジットカード普及率も低い。

ビジネスモデル

- ・ **オンライン請求・決済、ATMでの出入金、モバイル決済、提携ネットワーク店舗での支払いなど様々な決済方法を持つ。**
- ・ 提携ネットワークには、小型食料品、薬局、文房具店、郵便局などがあり、全店舗でPOSマシンを導入しクレジットカード決済にも使用。
- ・ **通信、公共料金、ネットショッピング、募金、教育、交通サービスなど幅広い分野での支払いが可能。**
- ・ 特許取得済みの技術にて、本人認証、機密性と整合性、ネットワークセキュリティなどを保証したサービスを提供。

会社概要／実績

- ・ 2007年設立、2010年にサービス開始、2019年8月に株式上場。
- ・ 毎日300万回以上の決済が行われている。
- ・ エジプト全土において20万以上の提携ネットワーク店舗がある。
- ・ 会社ホームページ：<https://fawry.com/aboutus/>

若年層とイノベーション

旺盛な起業家精神を持つ中東の若者。日本への高い好感度を背景に、協業が可能か？

“中東のアントレプレナーは、本当に若い世代で成功を収めており、世界の中で最も野心的でダイナミックなコミュニティを形成している”

(HSBCプライベートバンキング国際マーケット代表)

- ✓ 20代で最初の起業をする割合：
中東 約**73%** > 世界平均 約58%
- ✓ 中東のアントレプレナーの約42%は、35歳までに平均200万米ドルの年間収益を上げており、世界中のアントレプレナーの中でも早期に達成。

出所：HSBC Private Banking's Essence of Enterprise report

高まる日本の好印象

(Arab Youth Survey)

自国に「どのような国のようにしてほしいか」の質問に、**日本が上位ランクイン**

- ・全世代に日本車や家電など知名度
- ・若者にはキャプテン翼のアニメなどコンテンツも人気
- ・寿司などの和食も

	2017	2018	2019
1位	UAE	UAE	UAE
2位	米国	米国	米国
3位	カナダ	カナダ	日本
4位	ドイツ	日本	トルコ
5位	サウジアラビア	ドイツ	カナダ

出所：11th Annual ASDA'S BDW Arab Youth Survey 2019

会社設立制度、新投資法による外資優遇、

＜現地法人設立制度＞

- ・現地法人（外資100%）、合併会社、有限会社、単独株主会社設立可能
- ・条件：最低資本金要件、現地人雇用義務、販売代理店のみ外資禁止、土地所有化（審査厳しい）

＜支店、駐在員事務所＞

- ・支店、駐在員設立可能（駐在員事務所ルールが改定され更新の際に制約あり現法化求められる）

➤ 詳細：JETROHP「[会社手続き・必要書類](#)」参照

＜新投資法＞ 2017年第72号、第2310号（同施行規則）

- ・重点分野：スエズ運河経済特区、労働集約型、再生エネ、自動車、化学、食品、輸出etc.
- ・特別優遇措置（新規、7年間課税対象純益から投資コスト控除（資本金80%迄））
- ・紛争解決（対GAFI決定、対政府機関、対政府契約）

➤ 詳細：JETROHP「[外資の奨励策](#)」参照

＜会社清算法も改定＞

- ・会社の清算も簡易にする法律も制定

資金移動自由、仲裁組織
外資誘致PR
優遇背策不足の声も

貿易制度、輸出入手続き

＜工場登録：貿易産業大臣令2016年第43号＞

- ・対エジプト輸出・生産工場登録（輸出入管理公団GOEIC）
- ・25品目群（文房具、衛生用品、エアコン・冷蔵庫、時計他）
- ・元々は、出自の不明な粗悪品根絶が目的。結果的に輸入削減。
- ・外国企業（中国、米国、日本）から指摘、適正な運用が求められる。
- ・弁護士等を介した、戦略的な対応が有効。

＜自国産業保護主義的な側面＞

- ・上記の工場登録など輸入規制
- ・消費者保護法制定、アラビア語ラベル表示なども。

＜食品＞

- ・東日本大震災以降、産地証明書などの書類や検査が強化。
- ・豚肉、アルコールの含まれる食品はハラール認証添付。

➤ 詳細：JETRO HP「[貿易管理制度](#)」、「[輸出入手続き](#)」参照



取引品目から見る産業と可能性

- 石油・天然ガスの輸出が好調（コロナで生産減）
- 繊維製品を米国等に輸出、絨毯や家具なども輸出品
- 生鮮野菜（オレンジ、玉葱、イチゴなど）欧州、ロシアに。調整食品等を湾岸諸国等に輸出
- 食品は輸入も多い、小麦は世界最大の輸入国だった年も。建設資材も輸入
- 日本向けに玉葱、イチゴ等輸出、日本からは車、機械、部品、サバなど輸入

表 エジプトの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル、%)

品目 順位		輸出(FOB)				品目 順位		輸入(CIF)			
		2018年 金額	2019年					2018年 金額	2019年		
			金額	構成比	伸び率				金額	構成比	伸び率
1	石油製品(ガス含む)	1,704	3,131	10.3	83.7	1	石油製品(ガス含む)	8,533	6,356	8.1	△ 25.5
2	原油	2,133	1,917	6.3	△ 10.1	2	鉄鋼一次製品	4,415	3,615	4.6	△ 18.1
3	既製服	1,598	1,689	5.6	5.7	3	小麦	2,619	3,000	3.8	14.5
4	肥料	1,378	1,323	4.4	△ 4.0	4	原油	3,544	2,877	3.7	△ 18.8
5	プラスチック一次製品	955	1,114	3.7	16.6	5	プラスチック一次製品	2,874	2,786	3.6	△ 3.1
6	各種調整食料品	697	711	2.3	2.0	6	無機・有機化合物	2,302	2,681	3.4	16.5
7	生鮮果実	537	539	1.8	0.4	7	薬剤・医薬品	2,282	2,580	3.3	13.1
8	絨毯・キリム	314	308	1.0	△ 1.9	8	自動車	2,670	2,492	3.2	△ 6.7
9	乳製品	312	300	1.0	△ 3.8	9	食肉	1,664	2,101	2.7	26.3
10	石鹼類	301	270	0.9	△ 10.3	10	トウモロコシ	1,836	1,918	2.5	4.5
総額(その他含む)		29,230	30,305	100.0	3.7	総額(その他含む)		80,473	78,043	100.0	△ 3.0

[出所]エジプト中央動員統計局